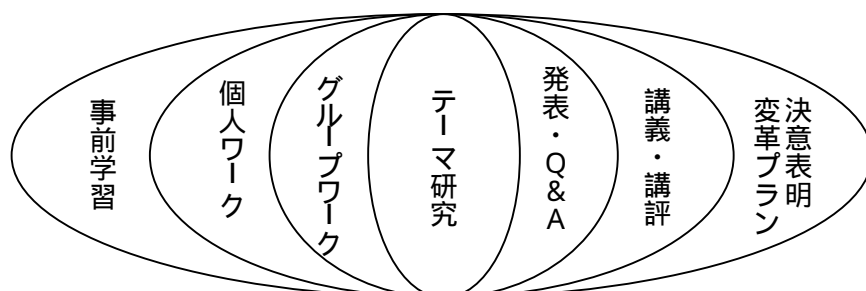


MTS Management Thinking Study

ビジネス・コーチングコース

～メンバーと共に成果を志向するリーダーの育成～



日本コンサルタントグループ

はじめに

企業を取り巻く環境が大きく変化する中、リーダーの業務はますます複雑化、煩雑化、多様化の様相を呈しています。

その一方でリーダーは、『指示待ち族』とか『疑問をもたない、考えない』等と評されることも多い、若いメンバーを育てなくてはなりません。『手間がかかり、効率的な業務推進の妨げとなる』という懸念を持っています。しかし、そのようなメンバーであっても、育成し、戦力化することがリーダーの最大の任務であることには、変わりありません。

今日のように、スピード、戦略性、柔軟性が求められる時代は、リーダーには次のようなことが求められています。

メンバーの自律的ワークスタイルを支援できる

～ 指導から支援へリーダーの意識改革が求められています～

目標意識の高揚と実現へ向けての的確な指導ができる

～ 目的、目標のブレイクダウンと部下との合意形成が必要となっています～

自律性の高い部下を育成することができる

～ 個が組織を活かし、組織が個を活かす学習型組織へと変革しています～

その求められるリーダーになるために、今最も注目されている手法として『ビジネス・コーチング』があります。

リーダーがメンバーを上手に育成することで、メンバーは今までできなかったことができるようになり（つまり成長し）、リーダーの仕事の一部を任せられるようになります。その結果、リーダーはより貢献度の高い業務に思考も時間も投入できるようになり、ひいてはリーダー自身の成長に結びつくこととなります。

このようにリーダー自身の成長とメンバーの育成を図ることが、これからの企業発展のカギとなります。リーダーとメンバーの自主性、主体性の醸成を促す『ビジネス・コーチング』の習得は、必要不可欠なものであると確信します。

なお、本コースは、九州大学大学院人間環境学部の古川久敬教授にご指導をいただいております。

1. ビジネス・コーチングコースの目的

私どもニッコンでは、ビジネス・コーチングを以下のように定義しています。

目標達成に向けて、メンバーの主体的・自律的な仕事の取り組み、行動をリーダーが支援するために用いるマネジメント・スキル

すなわち、リーダーは一方的にメンバーに指示するのではなく、メンバー自身が気づくように促すことが重要であり、そのために支援する知識・スキルが『ビジネス・コーチング』です。

本コースは、このビジネス・コーチングを推進し、『メンバーと共に成果を志向するリーダー』を育成することを目的としています。具体的には次の3点に絞っています。

仕事を基軸としたコーチング展開の理解

- ・単にコーチングスキルを理解するのではなく、まず仕事ありきの考え方を基軸にコーチングを展開することを理解する。

ビジネス・コーチングのコアスキルの習得

- ・コーチングにおけるコアスキル（フォーカススキル（部下の客観視）、傾聴スキル、質問スキル）を理解し、習得する。

ビジネス・コーチングの進め方の習得

- ・プレ・コーチングによるメンバーの現状把握（コーチング・ニーズの把握）とロールプレイングによるコンセンサス（合意形成）の進め方について、演習を通して理解し、習得する。

2. ビジネス・コーチングコースの考え方

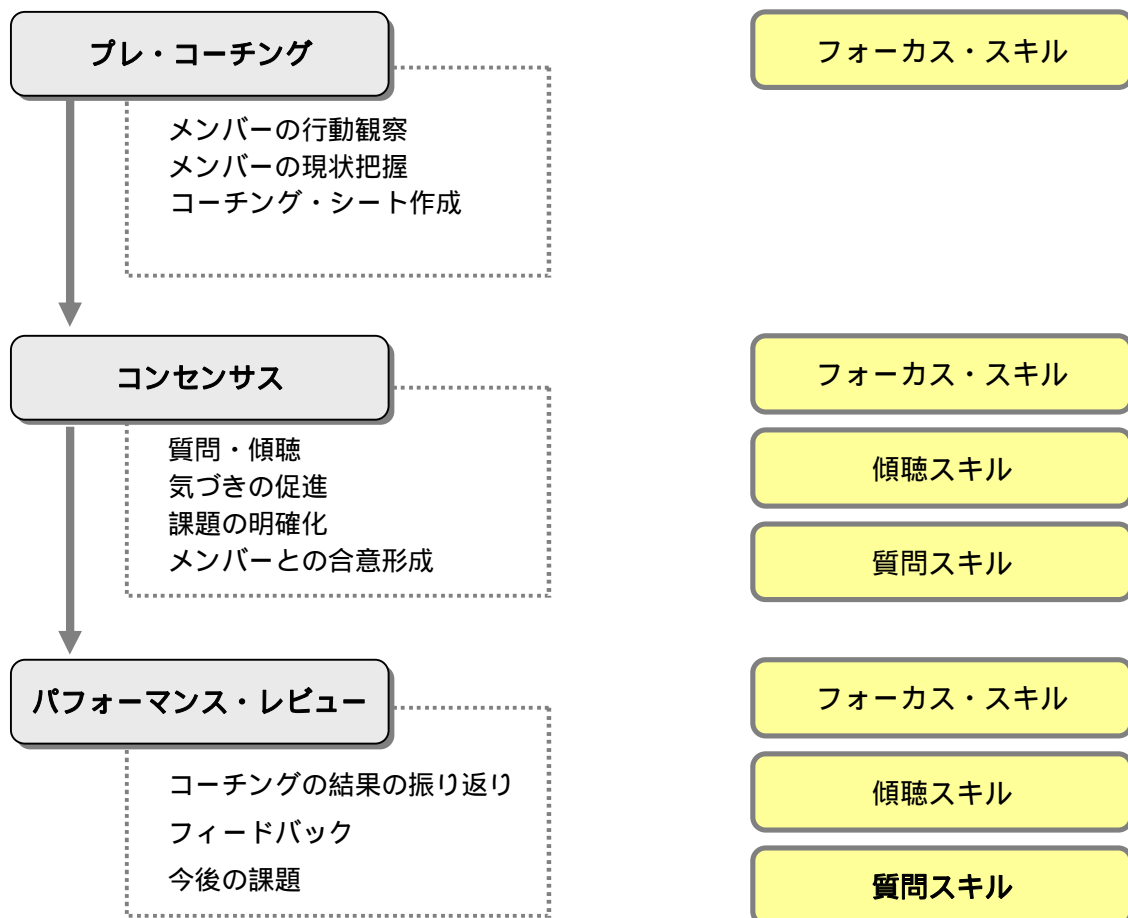
リーダーにとってのビジネス・コーチングニーズ

本コースでは、以下のようなニーズを想定しています。

- メンバーのモチベーションを高めたい
- メンバーの業務遂行能力を高めたい
- 「目標管理」の効果的運用をしたい
- 人事考課実施後の目標設定面談に活用したい など
- 数値目標を持っている営業メンバーの実績を向上したい など

ビジネス・コーチングの展開フローとコアスキル

本コースでは、ビジネス・コーチングの展開とそこで主として用いるスキルを以下のように位置づけています。



3 . 本コースの全体フロー

本コースは、事前学習 集合研修 という流れで進めます。

	ポイント	実施内容	ツール
事前学習	事前準備・学習による研修に対する構え(レディネス)の形成	<ul style="list-style-type: none"> • テキストの読み込み • プレ・コーチングシート作成 <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーのコーチングニーズの事前チェック 	<ul style="list-style-type: none"> • テキスト (事例除く) • プレ・コーチングシート
↓			
集合研修	1 . ビジネス・コーチングの基本理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス・コーチングの必要性 ・仕事とビジネス・コーチングの関係 	1 . ビジネス・コーチングの基本 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス・コーチングとは ・ビジネス・コーチングの必要性 ・メンバーへの動機づけ 2 . リーダーの基軸 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの基本姿勢 ・リーダーのコーチングスタイル診断 	<ul style="list-style-type: none"> • テキスト • テキスト • ワークシート
	2 . ビジネス・コーチングのスキル理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス・コーチングの具体的展開法および手法の理解 	3 . ビジネス・コーチングのコアスキル <ul style="list-style-type: none"> ・フォーカス・スキル ・傾聴スキル ・質問スキル 	<ul style="list-style-type: none"> • テキスト • ワークシート
	3 . ビジネス・コーチングの展開理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス・コーチングニーズの把握 ・ビデオ事例によるコーチング・ポイントの把握 ・職場事例に基づくロールプレイングの実践 ・効果性検証の進め方 	4 . ビジネス・コーチングの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・プレ・コーチング ・コンセンサス(ロールプレイング) ・パフォーマンス・レビュー 	<ul style="list-style-type: none"> • 事例 VTR • ワークシート • 展開ステップに沿ってロールプレイング • 意見交換 • 講評
	4 . ビジネス・コーチングの実践方向付け <ul style="list-style-type: none"> ・職場での実践に向けた計画化と動機づけ 	5 . 職場での実践に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・コーチング目標と計画作成 ・決意表明 <ul style="list-style-type: none"> • 研修のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート

研修カリキュラム

1 日 目			2 日 目		
時間	内 容	進め方	時間	内 容	進め方
9:00	*オリエンテーション 1. ビジネス・コーチングの基本 1) ビジネス・コーチングとは 2) ビジネス・コーチングの必要性 3) メンバーへの動機づけ 2. リーダーの基軸 1) リーダーの基本姿勢 ・仕事の軸の明確化 2) リーダーのコーチングスタイル診断	講義 Q & A 講義 個人ワーク	9:00	2) コンセンサス ・ビデオ事例による良い点、改善点の把握 ・コーチング・ポイントの把握 ・職場事例に基づくロールプレイング ・講評、意見交換	ビデオ視聴 グループワーク
12:00	昼 食		12:00	昼 食	
13:00	3. ビジネス・コーチングのコアスキル 1) フォーカス・スキル ・ロジカル・シンキング・ツリーによる課題の 明確化 ・行動観察 2) 傾聴スキル ・受容と共感の態度 3) 質問スキル ・質問の種類 ・質問スキルの高め方	講義 個人ワーク 講義 グループワーク	13:00	3) パフォーマンス・レビュー ・パフォーマンス・レビューの進め方 ・良かった点、改善点の確認 5. 職場での実践に向けて 1) 職場でのコーチング目標と計画作成 2) 決意発表	講義 グループワーク 個人ワーク 発表
16:00	4. ビジネス・コーチングの展開 1) プレコーチング ・ビデオ事例 ・プレコーチング・シートの作成	講義 ビデオ視聴 個人ワーク	18:00	● 研修のまとめ	講義
18:00			18:00		

4 . 実施要領

対 象 者	メンバー育成の役割を担うリーダー
定 員	20名以内
必要時間数	2日間（延べ19時間） （本研修16時間）+（事前学習3時間）
留意事項	プレ・コーチングシートを事前に作成して研修に参加していただきます。 実施にあたっては、事前に十分打合せをしてスタートします。